



## 6がつのほけんだより



令和4年6月発行

みそのくち保育園

湿度・温度ともに高くなり、じめじめ蒸し暑い日があるかと思うとひんやりとする日もあり、梅雨の晴れ間には真夏のような日差しが照りつけて気温が上昇することもあります。何を着せたら良いか迷う日もあるのではないのでしょうか？沢山汗をかいて、泥んこになって遊ぶのも楽しい季節でもあります。汚れても良いもので、吸湿・通気性の良い夏物のお着がえを多めに用意していただくと助かります。登降園時肌寒い時には上に1枚羽織って温度調節をしていただくと良いかと思ひます。

マスクも着用しているのて、熱中症に注意しながら活動する時間・ゆっくり過ごす時間など年齢に応じて過ごしやすい環境づくりに配慮していきたくと思ひます。

### 新型コロナウイルス感染症拡大防止の為のマスク着用について

オミクロン株の特徴と現在の感染状況を踏まえてマスク着用に関する考え方が変わってきました。厚生労働省と文部科学省では就学前児については以下の様になっています。

2歳未満：マスクの着用は推奨しません。

2歳以上：他者との距離にかかわらず、マスク着用を一律には求めていない。着用する場合は周りの大人が子どもの体調に注意した上で着用しましょう。

保育園の特性上、人との距離を確保したり、会話をほとんど行わないということは困難です。これまで感染しにくいと言われていた子どもたちの間でも感染が広がっている現状、子どもたちにとって大切な経験となる会話や歌、読み聞かせなどを楽しむためにも、園ではこれまで同様、大人は必ずマスクを着用し、幼児クラスの子どもたちも可能な範囲でマスクの着用を続けたいと考えています。ただし、以下の場合を除きます。

\*園舎外での活動時 \*運動時（体を動かし、汗をかくゲームやダンス等も含む）

\*午睡時 \*給食・おやつ・補食の時間

以下の様な場合は、クールダウンの時間を設けたり、密にならないように注意して暑い時苦しい時は短時間マスクを外して呼吸するなど息苦しさや暑さを軽減する工夫をしてからマスクの着用ができるか大人がしっかり観察して判断したいと思ひます。

\*気温・室温が高い時 \*本人が苦しいと訴える時

\*顔が赤い・息が荒い・顔色が悪い等体調の変化が見られた時

\*園外での活動や運動で体温が上がっている時

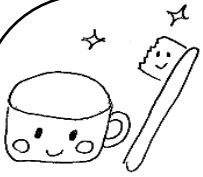
なお、これまで同様に本人の意思を尊重し、決して無理強いすることが無いよう注意したいと存じます。ご理解とご協力をお願いいたします。ご質問等がございましたらお声掛けください。



### 虫よけについてのお願い

最近園内でも蚊が飛んでいたり、虫さされの報告も出てきています。園でも電気式の蚊取り線香・天然エッセンシャルオイルを使った手作りの虫よけ・子どもにも使えるイカリジンという成分の市販の虫よけ（ディートを含まない）などで対策をしていますが、朝の登園時や朝の保育時間は蚊が活発に活動する時間帯でもあります。

お家を出られる前にお子さんに合った虫よけを使用していただけると安心かと思ひます。ただし、貼るタイプの虫よけは、剥がれてしまうと小さいお子さんが誤って飲み込んでしまう危険があるためお控えください。



## 6月4日から10日は 歯と口の健康週間

虫歯を予防するためには、食べたらずくに歯を磨く習慣付けが虫歯予防の第一歩です。

しかし、歯科の先生によると、一人で十分にみがけるようになるのは小学校3年生を過ぎてから。小学校のうちには最後は大人が確認してしっかり仕上げ磨きをしてあげる事が虫歯予防に効果的だそうです。

また、就寝前の歯磨きが1日のうちで一番重要かつ効果的だと言われています。

今日の出来事を話しながら仕上げ磨きをし、お子さんとコミュニケーションを取る時間として活用していただくのも良いのではないのでしょうか？



## もしかしてむし歯？

むし歯があると食事中こんな様子が見られることがあります。

同じ方ばかりで噛んでいる



いつまでも飲み込まない



噛まないでまる飲みする



かかりつけの歯医者さんを作り、定期的に歯のチェックアップをお願いしたり、おかしいな？と思ったら早めに受診しましょう。

## 水いぼ（伝染性軟属腫）って？

伝染性軟属腫は、ポックスウイルス科に属する伝染性軟属腫ウイルスに感染することで発症します。弱いウイルスなので免疫反応も起きにくく、治るのに時間がかかります。それほど重篤な症状も無く、時間がかかっても自然治癒しますが、周りの湿疹が痒くて引っ掻いたりすることで急激に増えたり、とびひになったりすることがあります。皮膚のバリア機能が不完全で、感染しやすい子どもたちの苦痛をできるだけ少なくするために、清潔や保湿などのスキンケアをするとともに、早めに治療する事をお勧めしたいと思います。園医の先生は、集団生活で本人にも他の子にも感染を広げない為にも、少ないうちに取ってしまうのが良いとお考えだそうです。感染拡大を防ぐため、プールや水遊びの時だけでなく普段の生活でも患部は衣服やガーゼで覆いましょう。

5月の受診状況 整形外科 1件 眼科 1件

5月の感染症 胃腸炎 5名 伝染性膿痂疹（とびひ）1名

## 正しく磨くポイント

☆ブラシやグリップの形がシンプルで小さめのものを使う

☆磨く面に直角にブラシを当てる。

☆1本1本みがくつもりで磨く。☆

☆毛先が開いたものは使わない。

☆歯ブラシは鉛筆を握るように握って柔らかい力ですできるだけ細かく動かす。

☆歯ブラシはきれいに洗って乾燥させる。

☆研磨剤入りの歯磨き粉は少量のみにする。

☆仕上げ磨きは上唇小帯の上に指を置き、カバーして行う。

